

## 研究科題名

覚せい剤が口腔の健康に及ぼす影響とその機序の解明

## 研究責任者

広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇

## 研究期間

許可日 ~ 2028年 3月 31日

## 対象者

2017年10月1日~2027年9月30日に広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センターにおいて解剖が施行された方のうち100名

## 目的・意義

覚せい剤の使用によって重度のむし歯や歯肉炎・歯周炎が起りやすくなるといわれています。しかし、これまでそれらの薬物使用者・中毒者の歯肉及び歯周組織の病理組織像および薬物自身が歯肉や歯周組織の細胞に直接与える影響については明らかにされていません。覚せい剤による口腔の不健康状態の原因・機序を明らかにすること、それにより衛生状態を改善させることは、薬物乱用を抑制する社会のモチベーション向上の上で大きな意義があります。

本研究では、法医解剖で実施した検査結果を検証し、覚せい剤が口腔健康に及ぼす影響とその機序を明らかにすることを目的とします。

## 研究方法

解剖時に施行される諸検査の結果と全身の各部位の検査で使用した残りの検体を用いた研究です。氏名や報告書番号などの個人が特定できる情報を削除し、匿名化したうえで死因究明教育研究センターのスタッフが解析を行います。

## 利用を開始する予定日

本学の実施許可日以降

## 個人情報保護について

調査内容については、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されることはありませんのでご安心ください。

## 研究への利用を辞退する場合の連絡先・問合せ先

本研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。ただし、解剖時の諸検査の内容およびその結果についてはお答えできません。また、研究発表されたことを後から知った場合は、請求があっても発表内容の消去が難しいことがある場合をご了承ください。

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3 tel. 082-257-1794  
広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター 特命講師 岡広子